

はじめにお読みください

ネットワーク版

Rebro2022 導入の手引き

目次

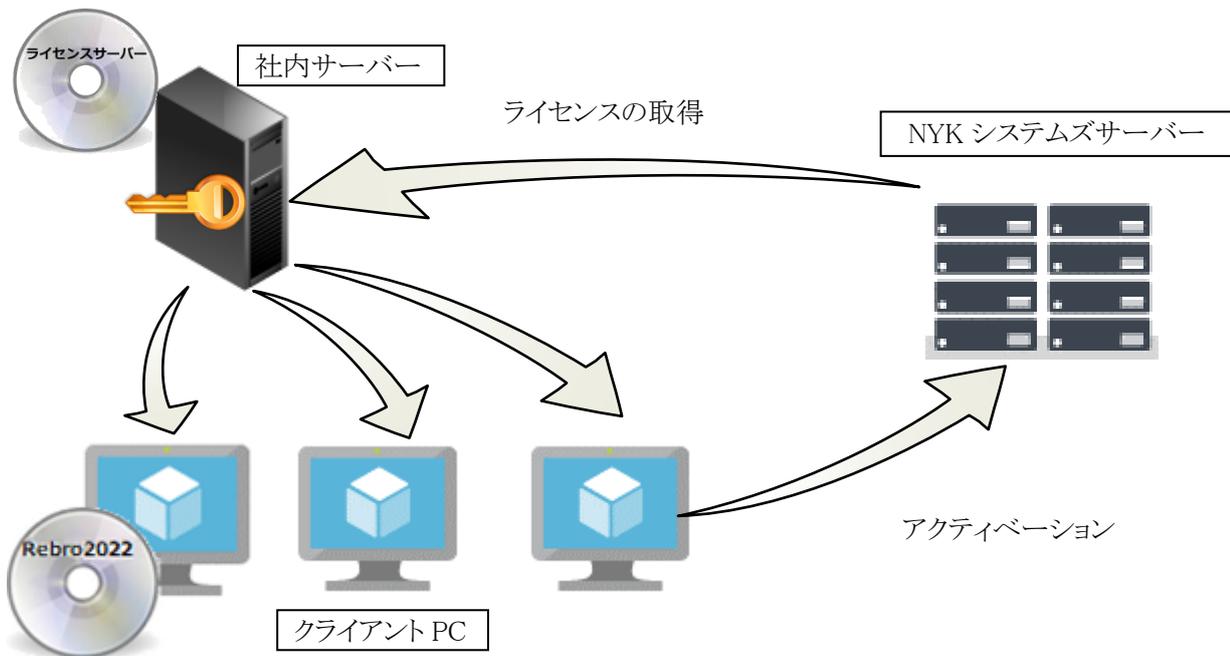
ライセンスについて.....	2
インストール方法	3
起動時間の制限.....	9
ライセンスの持ち出し(ポローイング)	10
ライセンスのアクティベーション.....	12
Webアップデート	12
ポートの設定.....	13
インターネットを使ったレブロの通信について.....	13
各セキュリティソフトの設定.....	15
ライセンスの確認について	16
製品シリアル番号について	17
エラー報告	17
サポート窓口のご案内	17
使用許諾契約書	19

ライセンスについて

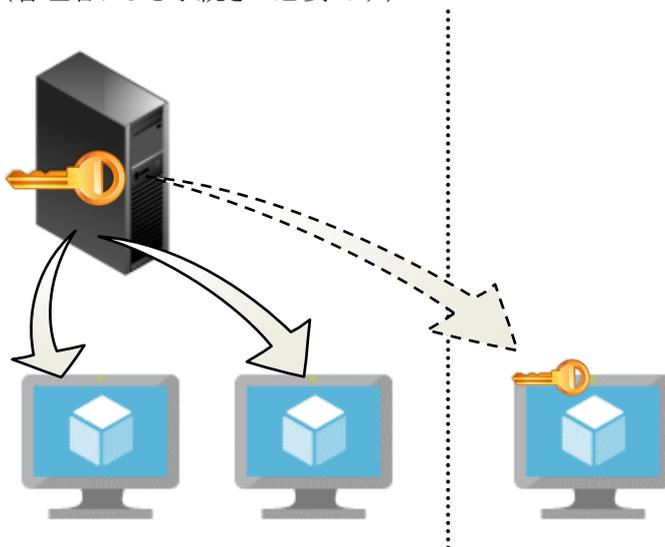
ソフトウェアライセンス

インターネットを通じてライセンス認証を行い、サーバーにライセンスを取得します。クライアントPCからサーバーにアクセスしてサーバーのライセンスを使用します。

社内サーバーには「ライセンスサーバー」、クライアントPCには「Rebro2022」をそれぞれインストールします。ライセンスには有効期限が設定されていますが、インターネットに接続した環境でクライアントPCからレブロを起動した時にアクティベーションを行い、ライセンスの有効期限を延長します。



また、サーバーのライセンスを一時的に持ち出し、社内のネットワークから切り離された環境で使用することもできます。(管理者による手続きが必要です)



インストール方法

動作環境

レブロは以下の環境にインストールすることができます。

OS: Microsoft Windows 11(64bit対応)、Windows 10、Windows 8.1 SP1(64bit、32bit対応)

CPU: Intel Core i9、Core i7、Core i5推奨

メモリ: 64bitOSは16GB以上推奨 32bitOSは4GB以上推奨

ハードディスク: 1.5GB以上の空き容量

グラフィック: DirectX12もしくはDirectX9が快適に動作するグラフィックボードもしくはオンボードチップ

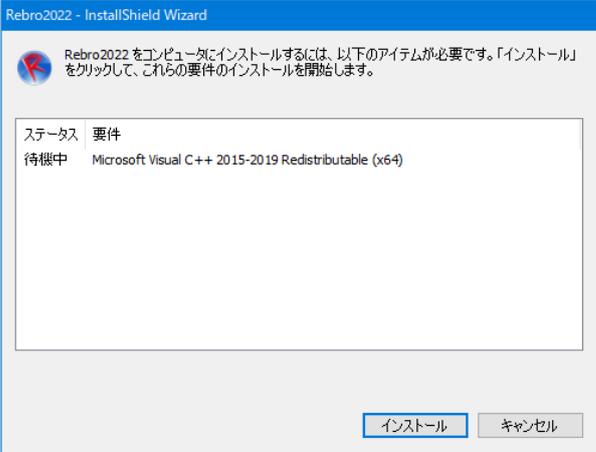
ディスプレイ解像度: 1280×1024(800)ドット以上

インターネット接続環境: 必須(ライセンス認証、Webアップデート、アクティベーション、ログの送信に使用)

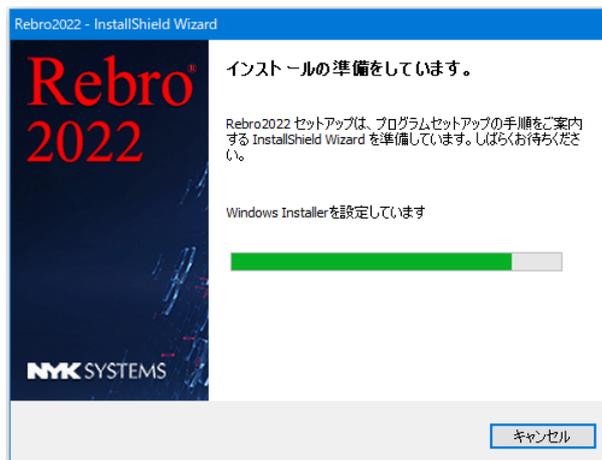
Windowsの「ゲスト」アカウントではレブロはご利用いただけません。(Windowsの初期値で「ゲスト」の使用はオフになっています)

インストールの手順

- 管理者権限のあるアカウントでWindowsにログオンしてください。
- 起動中の他のアプリケーションがあれば終了してください。
- PCに合わせて、32bit版レブロまたは、64bit版レブロを自動でインストールします。
(メディアからのインストールのみ)
- 以下は64bit版の画面になります。32bit版はインストール画面、スタートメニュー、デスクトップのショートカットアイコン、バージョン情報ダイアログに[32bit]という記号が付きます。
- インストール中にPCの再起動などでインストールが中断した場合は、手動で「RebroInstaller.exe」を実行してください。

<p>1</p>	<p>インストールメディアをパソコンの光学ドライブにセットすると、自動的にインストーラーが起動します。</p> <p>※インストーラーが起動しない場合は、エクスプローラでインストールメディアから「RebroInstaller.exe」を実行します。</p> <p>インストーラーをホームページよりダウンロードする場合は、購入者専用ページ(https://www.nyk-systems.co.jp/support/users_page)より、「インストーラー」をクリックし、パスワードを入力してログインします。「Rebro2022(ソフトウェアライセンス)」-「インストーラー」-「ダウンロードはこちら」をクリックします。</p> <p>お使いのPCに合わせて32bit版レブロまたは64bit版レブロをダウンロードしてください。</p> <p>ダウンロードしたzipファイルを解凍後、「RebroInstaller.exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。</p>	
<p>2</p>	<p>レブロを起動させるために必要なソフトウェアをインストールします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Microsoft .NET Framework 4.5• Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable 再頒布可能パッケージ <p>[インストール]をクリックします。</p> <p>※ ユーザーアカウント制御ダイアログでは「許可」を選択してください。</p> <p>※Rebro2018以前のバージョンをインストールしているPCにインストールをする場合、Sentinel Run-time Environment 8.31をインストールします。</p>	

- 3 インストールの準備画面が起動します。
しばらくお待ちください。



- 4 「Rebro2022用のInstallShield ウィザードへようこそ」の画面に変わります。
[次へ]をクリックします。



- 5 「使用許諾契約」画面が表示されます。
使用許諾契約書の内容をご確認いただき、同意の場合は「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、[次へ]をクリックします。



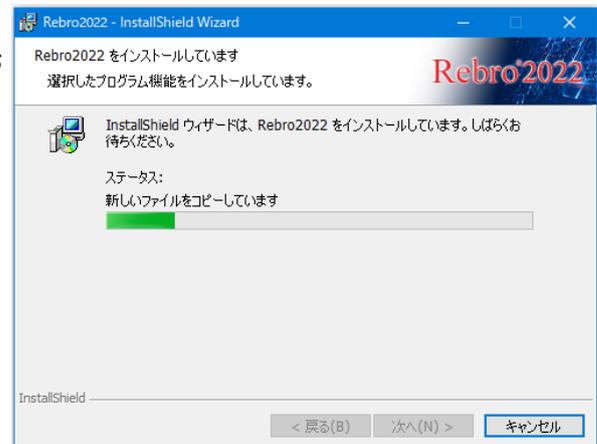
- 6 インストール先を確認します。
変更する場合は[変更]をクリックし、インストール先を選択します。
指定フォルダ内に「Rebro2022_JP」のフォルダが作成され、その中にインストールされます。
※32bit版のレブプロのフォルダは「Rebro2022_JP [32bit]」になります。



- 7 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されましたら、[インストール]をクリックします。



- 8 「Rebro2022をインストールしています」とダイアログが表示されます。そのまましばらくお待ちください。



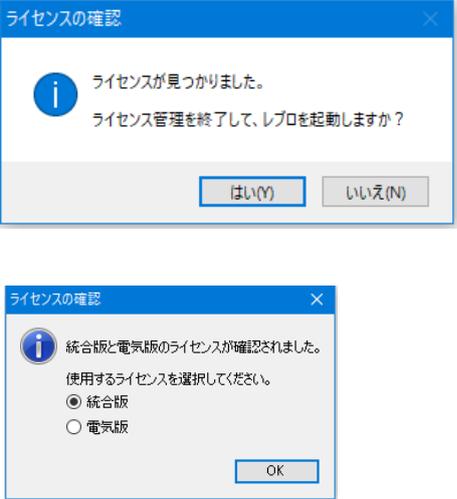
<p>9 完了の画面が表示されます。[完了]をクリックします。</p>	
-------------------------------------	--

レブロの初回起動

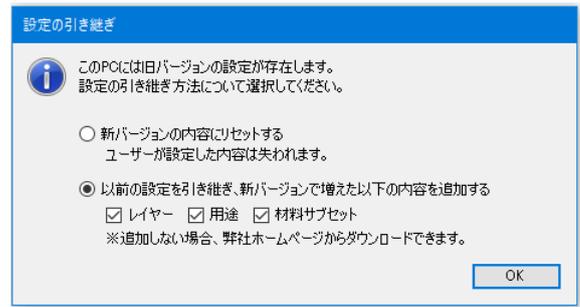
レブロを起動するには2通りの方法があります。

- デスクトップのショートカット「Rebro2022」をダブルクリック
- [スタートメニュー]-[すべてのプログラム]-[Rebro2022]-[Rebro2022]をクリック



<p>1 ライセンス管理画面が起動します。「ネットワーク版」を選択します。管理者から通知されたサーバーのIPアドレス、またはPC名を入力し、[ライセンスの確認]をクリックします。</p> <p>※ ユーザーアカウント制御ダイアログでは「許可」を選択してください。</p>	
<p>2 ライセンスの確認ダイアログが表示されます。[OK]をクリックし、ライセンス管理画面の[閉じる]をクリックするとレブロが起動します。</p> <p>※1で設定したサーバーに統合版、電気版両方のライセンスが存在する場合、使用するライセンスを選択して[OK]をクリックします。</p>	

- 3 前バージョンのレブプロがインストールされたPCの場合、新バージョンで追加された設定の引き継ぎ方法を選択します。

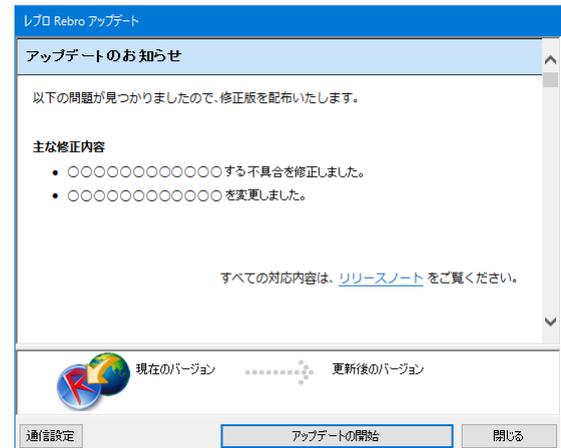


- 4 インストールメディアより新しいバージョンが公開されている場合、Webアップデートの画面が表示されます。

「アップデートの開始」ボタンを押します。

Webアップデートは、一旦レブプロを終了した後開始します。

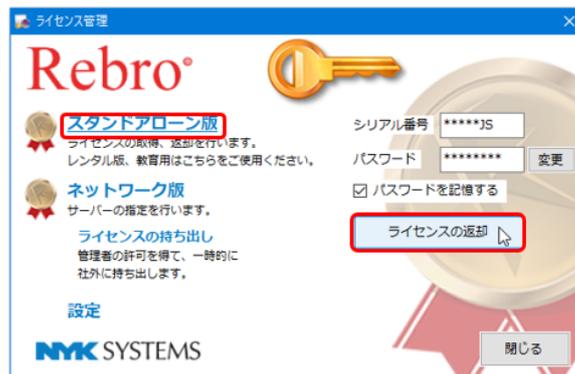
※Webアップデートはインターネットに接続された環境で動作します。詳しくは12ページをご覧ください。
 ※ ユーザーアカウント制御ダイアログでは「許可」を選択してください。



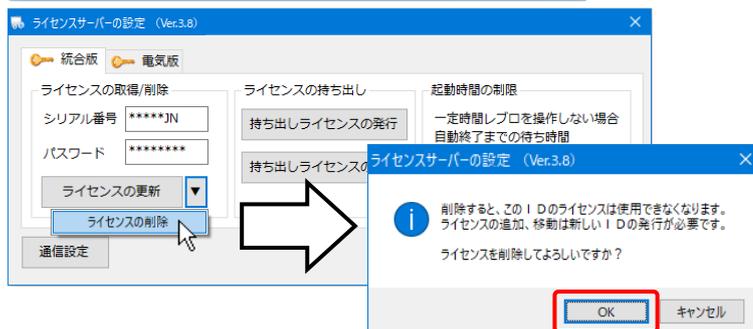
画面はイメージです。

※同じPCで「スタンドアローン版」のライセンスが取得されている場合、またはクライアント機とサーバー機が同一で、「ネットワーク版」のライセンスが取得されている場合、手順1で行ったサーバーの設定は無効になり、取得済みのライセンスが優先的に使用されます。
 その場合、「スタンドアローン版」は[ライセンスの返却]、「ネットワーク版」は[Rebro ライセンスサーバー]より[ライセンスの削除]を行ってください。

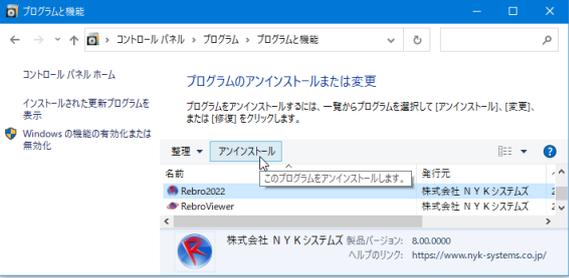
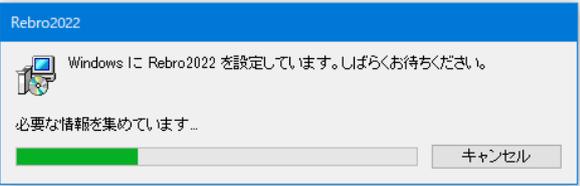
スタンドアローン版



ネットワーク版



アンインストールの手順

<p>1 [スタートメニュー]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]を起動します。 [Rebro2022]を選択し、[アンインストール]をクリックします。</p>	
<p>2 「Windows に Rebro2022を設定しています。しばらくお待ちください。」のダイアログが表示され、アンインストールを開始します。</p> <p>※ ユーザーアカウント制御ダイアログでは「許可」を選択してください。</p>	
<p>3 デスクトップから「Rebro2022」のショートカットが削除されます。</p>	

(備考)ユーザーごとの設定ファイルはレブロを再インストールしても利用できるように、パソコンに残ります。設定を削除する場合は以下のフォルダを削除してください。

C:\¥ProgramData¥NYK Systems¥Rebro2022_JP CommonData

C:\¥ユーザー¥(ログインユーザー名)¥AppData¥Local¥NYK Systems¥Rebro2022_JP LocalData

※フォルダオプションで「すべてのファイルを表示する」を選択した状態で行ってください。

起動時間の制限

サーバー側で設定された自動終了までの待ち時間の間操作されないと、ネットワーク版レプロを自動終了し、ライセンスを解放します。

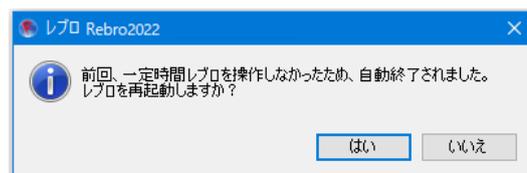
ネットワーク版レプロの挙動

自動終了時の処理

設定されている自動終了までの待ち時間の間、マウスのクリックやホイール操作、キー押下の操作がおこなわれなかったときに自動終了します(マウスの移動は「操作」に含まれません)。

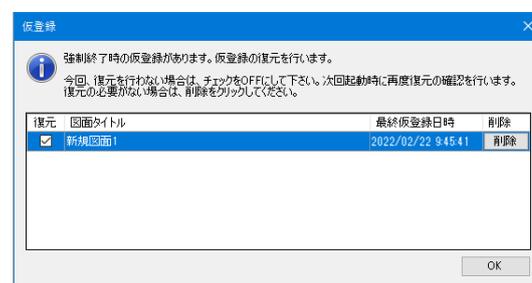
自動終了時に開いていた図面は強制的に閉じられますが、次回起動時に仮登録機能で復元することができます。

自動終了した後は、右のダイアログが表示され、自動終了されたことを通知し、再起動を促します。



図面の復元

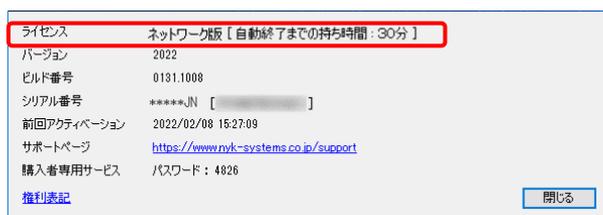
レプロを起動すると、右のダイアログが表示され、指定した図面を復元することができます。



クライアント PC での待ち時間の確認方法

サーバーのライセンスに自動終了までの待ち時間が設定されていると、ネットワーク版レプロの[バージョン情報]ダイアログに自動終了までの待ち時間の項目が表示されます。ライセンスに書き込まれた設定時間ですので、経過時間がカウントされるわけではありません。

待ち時間が「なし」に設定されている場合は、この項目は表示されません。



統合版



電気版

補足

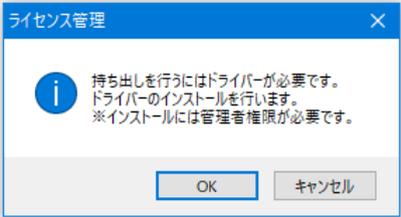
「開く」や「保存」、「隠線処理」などステータスバーにメーターが表示されている状態では自動終了されません。また、待ち時間の計測にも含まれません。「隠線処理」などの処理終了後、メーターが非表示になり、待ち時間の計測が開始されます。

レプロの「自動保存」をお使いの場合でも、自動終了の機能は働きます。自動保存の時刻までに自動終了の時刻が来れば、その時点で終了します。(その間の作業は仮登録で復元できます)

ライセンスの持ち出し(ポローイング)

持ち出し期限を設定することで、サーバーに接続しなくてもレブロを使用することができます。
ライセンスの持ち出し、返却には専用のファイルを作成し、使用者、管理者間でやり取りします。

持ち出し

1	<p>[ライセンス管理]より、「ライセンスの持ち出し」をクリックします。</p> <p>ライセンスの持ち出しは、ライセンス用ドライバー「Sentinel Run-time Environment 8.31」が必要です。 インストールされていない場合、この時点でインストールを行います。 ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合、許可をしてください。</p>	 
2	[持ち出しの申請]をクリックし、持ち出し申請ファイル(*.rb1)を作成します。	
3	持ち出し申請ファイル(*.rb1)を管理者に送付します。	
4	持ち出しライセンスファイル(*.rb12)が管理者から送付されます。	

5	[ライセンス管理]より、「持ち出しライセンスの取込」をクリックし、管理者より送付された持ち出しライセンスファイル(*.rb12)を取り込みます。	
6	設定した期限までのライセンスが取り込まれます。	

※持ち出し申請ファイル(*.rb11)の作成は、持ち出しライセンスを使用する PCで行ってください。
 ※持ち出し期限は 30 日以内です。それ以上になる場合は、再度申請を行ってください。

返却

1	[ライセンス管理]より、[持ち出しライセンスの返却]をクリックし、返却ファイル(*.rb13)を作成します。	
2	返却ファイル(*.rb13)を管理者に送付します。	

※持ち出し期限を過ぎたライセンスは強制的に返却されます。
 ※レプロ起動中に期限を過ぎると、「ライセンスが見つかりません」と表示され、レプロの強制終了が必要になります。

ライセンスのアクティベーション

ライセンスに有効期限を設定し、一定期間ごとにインターネットを通じて更新する仕組みを「アクティベーション」と呼びます。レブロでは、アクティベーションを自動的に行っています。インターネットに常時接続されている環境ではライセンスが有効期限切れになることはありません。

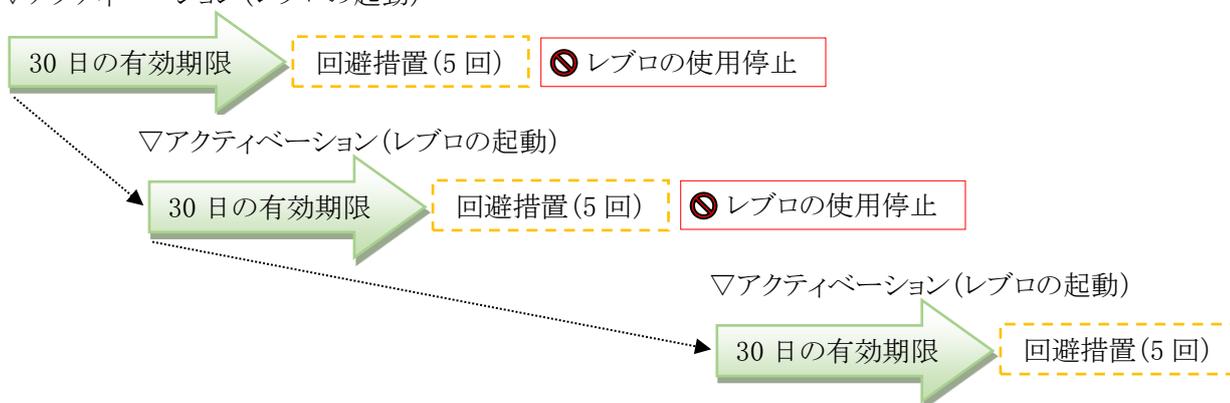
アクティベーションの仕組み

ライセンスの有効期限は30日です。レブロは1日に一回、アクティベーションを試みます。弊社のサーバーにより認証されると、その時点でライセンスの有効期限は30日延長されます。インターネットに接続されていないなどの理由で認証できない場合は、次回起動時に再びアクティベーションを試みます。最終アクティベーション日から30日以内に認証をお願いします。有効期間を過ぎるとレブロを使用できなくなります。

ただし、回避措置として有効期限を過ぎても5回まで使用することができます。

有効期限を過ぎてもインターネットに接続してレブロを起動すると自動的にアクティベーションが行われ、その時点でライセンスの有効期限は30日になります。アクティベーションはレブロがインストールされているどのパソコンで行っても問題はありません。

▽アクティベーション(レブロの起動)



前回アクティベーションした日時を確認する

前回アクティベーションした日時は、[ホーム]タブ-[バージョン]をクリックし、表示される[バージョン情報]ダイアログで確認できます。



統合版



電気版

Web アップデート

レブロにはインターネットを通じて、機能の追加と不具合を修正する自動アップデート機能があります。

Webアップデートを適用し、最新の状態でのご使用をお勧めします。

【ご注意】

- 管理者権限のあるアカウントでおこなってください。
- アップデート前の状態に戻すことはできません。



画面はイメージです。

自動アップデート

プログラムの更新がある場合、レブロを起動すると前ページのダイアログが表示されます。「アップデートの開始」を実行します。

手動アップデート

Windowsのスタートメニューから「Rebro2022」を指定し、サブメニューにある「Rebro2022 アップデート」をクリックすることにより手動でアップデートすることも可能です。

ユーザーアカウント制御を許可する

ユーザーアカウント制御が有効になっている場合、Webアップデート時に確認ダイアログ (RebroUpdate.exe)が表示されますので、「許可」を選択してください。

ポートの設定

レブロの起動時は、「クライアントPC」から「ライセンスを登録したお客様のサーバー」にTCP1947、UDP1947で通信を行います。TCP1947、UDP1947のポートを解放してください。(TCP1947、UDP1947のポートは、当社が使用しているライセンスの発行元が公式に取得しているポート番号です。)

インターネットを使ったレブロの通信について

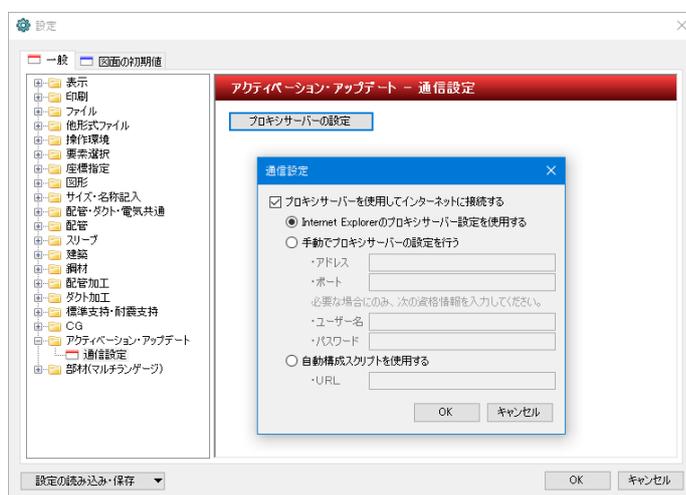
各セキュリティソフトで通信を許可する

アクティベーション、Webアップデート、エラー報告においてセキュリティソフトがインターネット通信を遮断すると、処理が正しく行われません。お使いのセキュリティソフトで、以下の4種類のプログラムの通信を許可することで、レブロのすべての機能を正しくお使いいただくことができます。

- ・「レブロ Rebro2022」プログラム
Rebro.exe (統合版)、Rebro-E.exe (電気版) アクティベーション、エラー報告を行う
 - ・「レブロ RebroUp」プログラム
RebroUp.exe Webアップデートを行う
 - ・「Rebro2022ライセンス管理」
LicenseManager.exe [Rebro2022ライセンス管理]の設定を行う
 - ・「ルミナスプランナー」プログラム
LPBatch.exe アドインのルミナスプランナーを使用する
- 15ページの「各セキュリティソフトの設定」も併せてご覧ください。

プロキシサーバーを使用する

プロキシサーバーを導入されている場合、プロキシサーバーのアドレスをレブロに設定する必要があります。[ホーム]タブ-[設定]-[一般]タブ-[アクティベーション・アップデート]-[通信設定]、またはアップデートダイアログ左下の[通信設定]でお使いのプロキシサーバーのアドレス、ポートを設定してください。



各セキュリティソフトの設定

〈ウィルスバスタークラウドで通信を許可する〉（バージョン 17.xの場合）

レブロは安全なソフトと判定されますので、特に設定は必要ありません。

通信の監視は、ウィルスバスタークラウドの[コンピュータを守る]-[コンピュータの保護設定]の[設定]-[不正サイト/迷惑メール対策]-[ネットワーク対策]の「ファイアウォールチューナーを有効にする」(Windows ファイアウォールを強化)のチェックを入れた場合におこなわれます。通常、この設定はオフになっています。



〈マカフィーリブセーフで通信を許可する〉（バージョン 16.xの場合）

レブロの通信時^(注)に、マカフィーリブセーフが「プログラムがインターネットアクセスを要求しています」のダイアログをディスプレイ画面右下に表示した場合、「許可」を選択してください。

以降このダイアログは表示されず、常に「許可」された状態になります。

(注)アクティベーション、Webアップデート、エラー報告でそれぞれ通信するタイミングは異なります。アクティベーション、Webアップデートはレブロの起動時に、エラー報告はユーザーがエラー内容を報告しようとした時に、それぞれインターネット通信します。

ファイアウォールのトラフィックコントローラーが「スマートアクセス(推奨)」の場合、上記のダイアログは表示されず、常に許可された状態になります。

「ブロック」した後、アクセス許可に変更する方法

上記の「プログラムがインターネットアクセスを要求しています」のダイアログで、「ブロック」を選択した場合、それ以降必ず通信が遮断されるためレブロの処理は正常に行われません。

この状態からアクセスを許可するには以下の設定変更を行います。

1. マカフィーリブセーフを起動し、「保護」をクリックします。
2. 「ファイアウォール」-「プログラムのインターネット接続」をクリックします。
3. 「プログラム」にある「レブロ ライセンス管理」(LicenseManager.exe、LicenseManagerNetMain.exe)「レブロ Rebro2022」「レブロアップデート RebroUp」のアクセス項目が「ブロック」になっている場合、「編集」をクリックしてアクセスを「送受信」-「指定ポートを使用 (推奨)」に切り替え、「保存」をクリックします。

ご注意

ファイアウォールのトラフィックコントローラーを「ロックダウン」に設定するとレブロに限らず、すべてのプログラムの通信が行われません。



〈ノートンセキュリティで通信を許可する〉（2022年度版の場合）

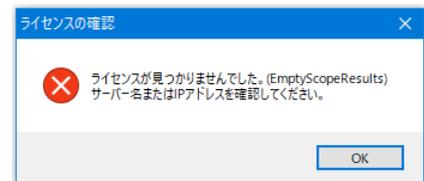
通常、ノートンセキュリティでは常に通信が許可されている状態ですので、特に設定は必要ありません。

「許可」を確認する方法

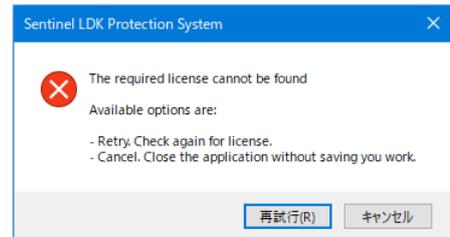
1. ノートンセキュリティを起動し、[設定]をクリックします。
2. [ファイアウォール]をクリックし、[プログラム制御]タブをクリックします。
3. [プログラム]のリストにある「レブロ ライセンス管理」(LicenseManager.exe、LicenseManagerNetMain.exe)「Rebro2022」「レブロアップデート RebroUp」のアクセス項目が「許可」に設定されているかを確認します。「遮断」に設定されている場合、「許可」に変更します。

ライセンスの確認について

ネットワーク版レプロは起動時にライセンスに空きがあるか、正常にサーバーと通信できるかを確認します。
確認ができなければ次のダイアログが表示されます。



また、起動中5分ごとに確認が行われます。通信回線が不通になった場合など、確認ができなければ次のダイアログが表示され、作業が中断します。
通信回線が復帰した場合、[再試行]をクリックすると作業を継続できます。
[キャンセル]をクリックすると、レプロを強制終了します。
通信回線が復帰し、レプロ再起動時に仮登録された図面が開かれ、前回のコマンド終了時の作業状態まで復元されます。



スタンバイ状態、休止状態のライセンス確認

レプロを起動したまま、スタンバイ状態や休止状態にするとライセンスが解放されます。(5分間隔の確認時に解放されます)
次回、コンピュータを再開したときにライセンスは再び取得されます。このとき、ライセンスに空きがなければ、上記のダイアログが表示されます。

ライセンスが解放されるのは、コンピュータ本体の処理が停止した場合のみです。ディスプレイの電源をOFFにしたり、Windowsの電源設定にある「ディスプレイを暗くする」機能では、ライセンスの確認は通常通り行われます。

スタンバイ状態(サスペンド): ノートパソコンなどでコンピュータの使用をいったん中断する機能

休止状態(ハイバネーション): コンピュータの電源を切る直前の状態を保存して、次に電源を入れたときに素早く再開する機能

製品シリアル番号について

レブロは、製品単位でシリアル番号が割り当てられています。シリアル番号は、統合版では5桁の数字+アルファベットの「JN」、電気版では5桁の数字+アルファベットの「JN-E」の組み合わせです。(レブロ起動画面の[ホーム]タブ-[バージョン情報]で確認できます。12ページ参照)

エラー報告

レブロにはエラー報告の機能があります。

エラー報告では、エラーログ、不具合の現象、操作手順、その時点での画面イメージ、OSの情報を弊社に送信していただくことができます。お客様のご判断で送信していただくこととなりますが、製品の品質向上のためにご協力をお願いいたします。

サポート窓口のご案内

ユーザーサポートページ

URL: <https://www.nyk-systems.co.jp/support/>

NYKシステムズ 東京事業所

TEL:03-5833-7172 FAX:03-5833-7173

メールアドレス:support@nyk-systems.co.jp (共通)

NYKシステムズ 大阪事業所

TEL:06-6881-5052 FAX:06-6881-5063

メールアドレス:support@nyk-systems.co.jp (共通)

Rebro2022 ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社NYKシステムズ(以下「弊社」)は、お客様に対して、お客様がこの「ソフトウェア使用許諾契約」(以下「本契約」)に含まれる全条件に同意する場合に限り、弊社ソフトウェア製品(以下「本ソフトウェア」)の使用権を許諾します。

本契約を表示するダイアログに示される[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、本ソフトウェアをインストールすることをもって、お客様は本契約を締結することに同意したと見なされます。お客様が自身のために本ソフトウェアを取得する場合は、弊社とお客様個人との間で成立し、お客様が企業またはその他法人のために本ソフトウェアを取得する場合は、弊社と企業またはその他法人のいずれかとの間で成立します。

お客様が本契約に同意しない場合、またはお客様自身もしくは代理する企業または法人が本契約に拘束されることを望まない場合、本契約を表示するダイアログに示される[使用許諾契約の条項に同意しません]を選択し、インストールを中止してください。その上で速やかに弊社販売窓口までご連絡ください。

第1条 使用権の許諾

弊社はおお客様に対し、本契約に記載されるすべての使用の制限および制約に継続的に従うことを条件に、本ソフトウェアの日本国内における非独占的、譲渡不可の使用権を許諾します。ただし、お客様が上記の制限または制約に違反する場合、使用権の許諾は自動的にかつ直ちに失効します。

本契約に記す適切な使用許諾の範囲を逸脱して本ソフトウェアを使用することは、弊社の知的財産権の侵害および本契約の重大な違反となります。本契約の条項は、その他の事物に対していかなる使用権も許諾するものではありません。本ソフトウェアが合法的に取得されていない場合、本契約の条項によりいかなる使用権も許諾されません。

第2条 禁止事項

- (1) お客様は弊社の書面による事前の承認を得ずに、本ソフトウェアおよび本ソフトウェアのライセンス認証(以下「ライセンス」)に関する情報を、第三者に販売、譲渡、貸与、配布、リースすることはできません。
- (2) お客様は本ソフトウェアの一部、または全部をリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。
- (3) お客様は、弊社が本ソフトウェアに処置したライセンスの方式を迂回もしくは除去するための器具、装置、ソフトウェア、またはその他の手段を使用することはできません。また、お客様は、弊社または弊社が認める販売代理店を通じて提供されたものではない本ソフトウェアを使用することはできません。

第3条 知的財産権の留保

本契約で明示的に定められていない限り、本ソフトウェアの権利(権原、所有権、著作権およびその他の知的所有権等)は、弊社が保有します。本ソフトウェアは使用を許諾されるものであり、売却されるもの

ではありません。

第4条 アップデート

本ソフトウェアは、自動アップデートに対応しています。お客様は、アップデートを使用することにより、本ソフトウェアの旧バージョンを使用する権利を放棄したものとみなします。

第5条 使用許諾期間

本契約の条件に従い、本ソフトウェアの使用許諾期間は無期限とします。ただし、本ソフトウェアが、評価版と指定される場合、またはレンタルライセンスと指定される場合を除きます。この場合、使用許諾期間は、弊社が指定する期間(以下「指定期間」とします。期間を指定しない場合は、お客様が本ソフトウェアをインストールした日から90日後に、指定期間が満了するものとします。

第6条 品質の保証

保証範囲

本ソフトウェアの品質の保証は、以下の範囲に限り、弊社は対応するものとします。

- (1) 本ソフトウェアが付属の製品マニュアルに従って実質的に作動しない場合
- (2) 弊社が認める不具合
- (3) 本ソフトウェアの配布メディアに欠陥がありインストールができない場合、またはライセンスに欠陥があり本ソフトウェアが動作しない場合、修補または交換に応じるものとします。
- (4) 本ソフトウェアまたはハードウェアの不具合が火災、地震、第三者による行為その他の事故、お客様の故意若しくは過失、誤用その他異常な条件下での使用において生じた場合には、弊社は保証の責任を負いません。

保証方法

上記の保証範囲において、修補または交換する場合は、弊社の判断によりその時期、方法を選べるものとします。

保証期限

本ソフトウェアの保証期限はそのリリースから1年間とします。

第7条 保証の制限

- (1) コンピュータによる設計支援ツール(以下「CADソフトウェア」)は、訓練を受けた専門家のみが使用することを意図したものです。お客様の専門的な判断に代わるものではありません。CADソフトウェアは、設計支援を目的としており、製品の応力、安全および有用性に関する独立した設計分析、見積、またはテストに代わるものではありません。本ソフトウェアの潜在的なアプリケーションが多種多様であるため、本ソフトウェアは使用されるすべての状況に基づくテストは行われていません。弊社は、本ソフトウェアの使用を通じて得られる結果についていかなる方法でも責任を負いません。お客様は、本ソフトウェアの監視、運営および管理について責任を負うものとします。かかる責任は、本ソフトウェアの適切な使用方法を決定すること、ならびに意図する目的を達成するための本ソフトウェアの選択を含みます。また、お客様は、本ソフトウェアを用いて設計されたあらゆるものを含む、あらゆる

るアウトプットの信頼性、妥当性をテストするための独立した手続の妥当性を確立する責任を負うものとし、

- (2) 弊社は、本ソフトウェアに含まれる機能が、お客様の使用目的に適合することを保証するものではありません。いかなる場合においても弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない)に関して一切責任を負わないものとし、例え弊社がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

第8条 アクティベーション

本ソフトウェアの継続するには、ライセンスと連動したアクティベーションが必要になります。お客様は、弊社がアクティベーションを実施するために本ソフトウェアの購入に際してお客様によって提供されたデータおよび情報を弊社が使用することに同意します。また、お客様は、弊社のプライバシーポリシー(弊社WEBサイトでご覧いただけます)に則り登録情報を保持し最新に保つことを同意します。

第9条 インストールの制限

- (1) 本ソフトウェアの使用許諾は、ライセンスとアクティベーションの組み合わせによって管理するものとし、本ソフトウェアの複数のコンピュータにインストールすることを妨げません。
- (2) お客様のライセンスを確認するために、弊社および弊社の販売代理店は、お客様情報リスト、注文、登録、アクティベーション、バージョンアップ、ライセンス、インストールしたコンピュータの特定情報、IP アドレス、アクセスおよびお客様を管理するための関連情報とデータなどを取得することができます。弊社および弊社の販売代理店は、お客様のライセンスに基づく正当な使用を確認できない場合、本ソフトウェアの全部又は一部の機能を停止する権利を保有します。

第10条 日本国外での使用

お客様が本ソフトウェアを海外で使用される場合は、別途「海外使用許諾契約」が必要となります。

第11条 契約の解除

お客様が本契約に違反した場合、弊社は本契約を解除することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアを一切使用できないものとし、速やかに本ソフトウェア一式を弊社に返却するものとし、その際、弊社はアクティベーションの管理によって本ソフトウェアを使用できない状態にする場合があります。

以上

ネットワーク版 Rebro2022 導入の手引き 〈 2022 年 3 月 24 日 第 1 版 〉

「Rebro」は株式会社NYKシステムズの登録商標です。「Rebro」及び「RebroViewer」は株式会社NYKシステムズの著作物であり、「Rebro」及び「RebroViewer」にかかる著作権、その他の権利は株式会社NYKシステムズに帰属します。本製品の一部または全部を複製、改変することはその形態を問わず禁じます。「Rebro D」はダイキン工業株式会社の許諾を受けた「ライセンスシェアモジュール」を使用しています。

Windows 11、Windows 10、Windows 8.1 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。InfiPoints®は株式会社エリジオンの登録商標です。みつもりくん®は株式会社コンプケアの登録商標です。Revit®はオートデスク株式会社の登録商標です。Luminous Planner™はパナソニック株式会社の商標です。DK-BIM はダイキン工業株式会社の登録商標です。SPIDERPLUS®はスパイダープラス株式会社の登録商標です。MEL-BIM は三菱電機株式会社の登録商標です。ダクターはネグロス電工株式会社の登録商標です。その他の製品名は各社における登録商標、または商標です。設備CADデータ交換仕様“BE-Bridge”および、設備機器ライブラリデータ交換仕様“Stem”は、一般財団法人 建築保全センターの著作物です。本製品は、Open Design Alliance の「Teigha®」(Based on Teigha® from the Open Design Alliance.)、RDF Ltd.の「IFC Engine™」、アドバンスソフトウェア株式会社の「VB-Report 7」、Tracker SoftWare Products の「PDF-XChange PRO SDK」、CodePlex の「DotNetZip Library」、XLSOFT の「SpreadSheetGear®」をそれぞれの再配布条件に基づき使用しています。本製品には清水建設株式会社の許可の下、特許(第 6384709 号)が使用されています。本製品にはデータ提供の契約書もしくは覚書に基づき、TOTO 株式会社、株式会社 LIXIL から提供を受けた形状データに、弊社で属性情報を付け加えた部材が含まれています。形状データは外形上の特徴を損なわない範囲でデータ容量の軽減を行っております。